



三小だより

1月号 令和6年1月9日発行
横浜市立港南台第三小学校 学校だより
電話 833-0251
FAX 833-9204

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/kohandai3/>

よりよくなろうとしている自分

校長 岡部 一郎

令和6年(2024年)が始まりました。冬休みは、どのように過ごされたでしょうか。私は、子どもの頃、冬休みや年末・年始について特別な思いをもっていました。それは、普段にはない楽しい出来事があったり、久しぶりに会う人がいたり、とても「わくわく」する気持ちでいっぱいだったからです。きっと子ども達も、冬休みや年末年始に、「わくわく」する気持ちを持ち、様々な体験や経験をしたと思います。子ども達の期待感、そして楽しかったことなどを大切にしながら、今後の学習を進めてまいります。

さて、12月16日(土)には、「ふれあいコンサート」がありました。今年度は、土曜日に開催させていただきました。多くの保護者の方々、そして学校運営協議会の皆様に観ていただくことで、子ども達の気持ちも高まり、合唱や演奏の表現がより一層豊かになったと感じています。お忙しい中、本当にありがとうございました。

また今年度は、全学年が集まってコンサートを行うことができました。1年生~6年生までの児童が一緒にいる中では、「演奏をする人」にとっても「演奏を観る人、聴く人」にとってもお互いを意識し、とてもよい効果をもたらしていました。まさに「みんなでつくるふれあいコンサート」が実現できました。

今回の「ふれあいコンサート」を通じて大切にできたことは、子ども達一人ひとりが自信をもって、練習や本番に臨むことです。練習をしているときには、思い通りにいかないことなどがあってもいいかもしれません。そのような時には、気持ちを保つのがとても大変だったと思います。「どうして、うまくいかないのだろう。」と悩むこともあったと思います。

最近ある医者が監修している本に次のような一説がありました。「自分のことで悩むのは、悪いことではない(略)。なぜなら、あなたが悩むのは“よりよい自分になりたい”という気持ちがあるからです。」。よくなりたいたいという前向きな気持ちが、悩みを生み、そしてモヤモヤとした思いにさせてしまうということです。

「どうして?…」と悩んでいるときは、つらく、落ち込むこともあるかもしれません。私もこのような思いをもつことがあります。ただそれは、よりよくなるための方法を探っている途中の段階のようです。そして、よりよくなりたいたいという気持ちがあることに、自信がもてればと思います。「ふれあいコンサート」の取組のように、よりよい演奏を聴いてもらいたいという自分の気持ちをしっかりと理解し、自信をもって、一步一步着実に進んだ結果が素晴らしいコンサートにつながっています。

しかし、「ふれあいコンサート」の練習中は、一人ひとり様々な思いがあったと思います。時々、振り返ったり、相談したりすることも大切です。そして、これからも、よりよくなろうとしている自分に気づき、そのことに自信をもってほしいです。いよいよ今年度のまとめの時期になりました。子ども達が「ふれあいコンサート」で培ってきた経験と自信をこれからの学校生活に生かしていきます。